

西丹沢 大室山・加入道山 山行報告

【山域】 丹沢山塊北部

【日時】 2018年9月1日（土曜日）

【メンバー】 CL佐藤 松本 宮城(記録)

【タイム】 用木沢出合 7:30~8:50 犬越路 9:10~10:50 大室山山頂~
加入道山頂 12:30~白石峠~用木沢出合 3:10

【報告】

天候不良の南アルプス甲斐駒ヶ岳を諦め、近場の西丹沢へ行ってきました。

歩荷訓練のため、ザック 15kg以上との指令が出ますが、西丹沢も午後から雨の予報。

「どうせ濡れちゃうんなら、濡れても大丈夫な水、ゼリー、食料、ガチャで 15kgにしちゃお」

見た目はちんまりながらも重心が低く肩や腰への負担は増大。背負って歩けば疲労感倍増！
愚か者のザックでお出かけです。

西丹沢自然教室を過ぎ、白石オートキャンプ場の先に「私有地」の看板が出てきますがそのまま
細い車道を直進すると用木沢出合です。駐車出来るのは 5~6 台くらいでしょうか。

1 台しか停まっておらず、車道歩きを 30 分短縮出来てニコニコな出発です。

用木沢沿いに河原を何度か渡ったら、そこから急登の始まり。

東海自然歩道である登山道は、看板や吊り橋、木道、階段と丁寧に整備されています。

しかしながら、愚か者ザックの私は急登の前から既に虫の息。

ストックを使った四足歩行でも、髪の中からポタポタ汗が流れ落ちるレベルの発汗です。

「足を動かし続ければ、いつかは到着するんだよ」以前Kちゃんに教わった魔法の言葉を脳内
でヘビロテするも、全く効果ありません。

きちんとバッキングする事がどれだけ大切なのか…心の底から嘔みしめて、反省して、歯を食い
しばって登ること 1 時間。やっと、犬越路(いぬごえじ)へ到着です。

武田信玄が小田原城を攻めた時、イヌを先頭にここを越えたとの伝えが地名の由来です。

生憎の眺望でしたが、すぐそばにある犬越路避難小屋は一見の価値があります。

広く綺麗な室内に、木で出来たテーブルとイス、その奥に 10 人は眠れるであろう小上がり。

しかも、簡易ながらも水洗トイレ付き！ 素晴らしいすぎる！

「いつか、ここに泊まりたいね」

犬越路から西の肩までは一気に 500mの登りです。

途中で何回かこれは御褒美なの!? と思われる平らな道が出てきますが、この急登もゾンビの
如くフラフラしながら何とかやり過ごして辿り着いた大室山山頂は、眺望がなくとっても地味。
写真撮ったらすぐに西の肩へ戻ります。

西の肩からは、ガスがいったん晴れて本日は見られないと思っていた富士山がどーん！
休憩を挟んで木道を進むと、整備された階段の急な下りが延々と続きます。
下りきったところが破風口キレット。そこからしばらく登ると前大室(馬場峠)、少し下って登ると、
加入道山の山頂です。大室山より、びっくりするくらい更に地味…。
が、目の前にある加入道山避難小屋は、これまた一見の価値ありまくりなのです。
犬越路避難小屋と同じレベルの室内で、こちらの方がより新しく綺麗。
トイレはありませんが、雨水を貯めた貯水槽があります。
居心地、良すぎです。いつの間にか、意味なく長時間休憩しちゃってます。
「こっちにも、いつか泊まろうね」

白石峠から白石沢沿いに下ると、地図には『やや荒れている』との記載ですが、控えめに言っても登山道は荒れ放題。経験浅いロンリーハイカーなら、遭難かと不安にさせるレベルです。
整備された後、自然の猛威にやられちゃったのかなあ。
途中、白石の滝が展望できる場所がありますが、木が邪魔してイマイチ微妙です。
そこから下り続けて再び沢を何度か渡り、たわんで揺れる木橋(定員1名)を経て林道を抜けると、用木沢出合です。朝1台だった車は台数が増え、沢遊びキャンパー達で賑ってます。
誰かのブログで読んだ、「静寂に包まれた森」との言葉通り、用木沢出合～大室山～加入道山～用木沢出合の行程中は、誰ともすれ違うこと無かった一日。
雨に降られることなく、静かで素敵な歩荷訓練コースに出会えたのでした。
コースを選んでくれたCL、ゾンビな私を励まし続けてくれたMさん、ありがとうございました。

記録 宮城







犬越路避難小屋 (水洗トイレ付)